

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の保健衛生環境が改善される               <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 配水設備の整備と継続的な維持管理により、地域の水・衛生状況が改善される。</li> <li>➤ 地域住民が循環型農業の知識と環境・保健衛生知識を学ぶことで、インレー湖の課題を主体的に解決できる能力を身につける。</li> </ul> </li> </ul>
(2) 事業内容	<p>ミャンマー政府との調整、建設業者選定・契約、備品調達、準備資材購入・搬入などの準備後、以下の活動を行った。なお、会計監査は監査会社の都合上、4月下旬に変更となった。</p> <p><b>【活動1】対象地域に配水設備を建設する</b></p> <p>1.1 水源を整備する 水タンク建設、ポンプ小屋、管理人小屋の建設を実施、順調に進んでいる。</p> <p>1.2 水タンクから、各村落へ配水する2つのラインを配管する。 ライン1, 2とも予定通りパイプ配管作業を実施した。</p> <p><b>【活動2】配水設備の維持管理体制を強化するため、維持管理委員会とミーティングを行う</b> 維持委員会が会議を2度実施し、施設の維持管理体制について再確認をした。</p> <p><b>【活動3】地域住民を対象に循環型農業技術及び保健衛生の基本的な知識を学ぶためのワークショップを実施する</b> 研修の準備を進める中で地域との調整の結果、4、5月にまとめて5回開催することにしたため、研修の準備のみ行った。</p>
(3) 達成された効果	<p><b>成果1：インレー湖の汚染されている水を飲んでいた住民が、衛生的な飲料水にアクセスできるようになる。</b></p> <p>(指標1) 飲料水配水施設が整備され、給水施設への配水が行なわれた数：4村落群 ⇒現状では給水施設が完成していないため、配水が行われた村落群はなし。</p> <p>(指標2) 水へのアクセスが改善した家庭数：3,067世帯、15,508人 ⇒配水が行われていないため、水へのアクセスは改善していない。</p> <p>(指標3) 汚染された水の摂取が原因となる下痢及び赤痢等の患者数に関して、事業終了後3年間の年間平均が、現在の212名(4診療所の過去2年間の年間患者数平均)の50%(年間106名)以下になる。 ⇒現状では変化なし。</p> <p><b>成果2：維持管理体制が強化され、住民自ら維持管理ができる。</b></p> <p>(指標1) 維持管理委員会によって、地域住民から水基金を徴収、</p>

	<p>会計帳簿が作成される。  ⇒水基金の回収は建設終了後となるため、現在進捗なし。  (指標2) 維持管理委員会によって、施設の管理体制を含む、飲料水使用規則が設定される。  ⇒維持管理委員会が2度会議を開き、施設の管理体制について話し合いを行った。事業開始前に文書化したものが既に存在するため、再確認を行った。  (指標3) 1年に4回以上維持管理委員会を開催し、議事録が作成される。  ⇒事業終了後、正式に委員会を発足し、議事録も作成するため、現状では進捗なし。</p> <p><b>成果3：地域住民が循環型農業技術と環境・保健衛生知識を身につける。</b>  (指標1) 循環型農業・保健衛生研修を受講者数：延べ1,000名  ⇒上記のように、研修開催時を調整したため、現状では受講者数はゼロである。  (指標2) 循環型農業・保健衛生研修を受講し、実践した人数：参加者の50%(事業終了1年後の調査時)  ⇒事業終了1年後の調査であるため、現状ではデータなし。</p>
(4) 今後の見通し	<p>建設事業は計画通り進捗している。今後も予定通り水タンク建設、パイプ配管、堤防、ポンプハウス建設、管理人小屋建設を進め、同時に研修、維持管理委員会ミーティングも開催していく。</p>